

テーマ:海の生き物

駒込第一保育園(豊島区)

テーマを設定する

池バス遠足でサンシャイン水族館に行くにあたり、海の世界や海の生き物に興味を持てるよう当園の広いホールで絵本を通じて、表現あそびを楽しみたいと考えたため。いろいろなことに興味関心が強い子どもたちなので、普段の保育では味わえないような自由に表現する経験ができることを期待している。

活動 ワークショップ

海の生き物に関連する絵本や、園外活動で訪れた水族館で見た生き物の姿から、想像力を膨らませて、身体表現をしたり、オリジナルの海を描いて遊ぶ活動を実施。

環境をデザインする

準備物:ハترون紙、クレヨン、養生シート、スズランテープ、ビニール傘、クリアファイルほか

探究活動を実践する

●活動内容

- 1.絵本を導入として、ペンギンになって身体を動かす。
- 2.海の生き物の動きを身体で表現。
- 3.紙芝居を読み、イメージを膨らませて、自分たちのうみを描く。さまざまな海の生き物を描いたり、色をぬったりする。
- 4.作った海を鑑賞。頭上ではためかせたり、筒状にしてトンネルを潜って遊ぶ。
- 5.両面テープとスズランテープのついたベルトを装着。紙の海をやぶって、その破片をベルトに貼付け、海の生き物に変身する。
- 6.自由に動き回ったり、海の破片を紙吹雪のように浴びたりして遊ぶ。

●子供たちの様子

- ・身体を動かす際には、それぞれがイメージする生き物になり切って楽しそうな表情が見られた。最初に身体を動かす活動を行ったことで、子どもたちの緊張がほぐれ、闊達な意見や表現を行う下地づくりに役立った。
- ・海を描く活動では、夢中になって大きな画面にひたすら色を塗る姿や、友だちと役割分担を協力しながら大きな生き物の絵を描く姿が見られた。
- ・最初は海を描くということで、青や水色を使って描く子が多かったが、海の生き物を描く際には、実際の生き物の色とは違う、色とりどりのクレヨンを使うようになっていった。
- ・生き物を描く際は、描いた生き物になって動いてみたり、オノマトペのような声を出したり、生き物そのものを体験しながら、全身を使って描く姿が見受けられた。

活動スケジュール(5歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① ワークショップ 講師:たけうちみずゑ(俳優)他2名	R7.10.17 (金)	60分 程度	19人
② イケバス遠足実施 キッズパーク・サンシャイン水族館	R7.10.23 (木)	4時間 程度	20人
③ 海の生き物のペープサート作り 作品と名前紹介をした	R7.11.07 (金)	1時間 程度	17人



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・外部講師の表現力がとても豊かで、子どもたちが最後まで集中力を切らさずに、楽しく参加することができたし、保育士としても楽しむことができた。
- ・活動時の音楽の使い方がとても印象的であった。読み聞かせのみならず、活動の最中に流れる音楽もよい効果を上げていたと思う。
- ・外部講師の話し方や声掛けの仕方など、子どもたちの興味・注意を引く手法がいくつもあり、今後の保育に活かしていきたいと思う。